

平成31年度

社会福祉法人佐久市社会福祉協議会
事業計画書



佐久市社協イメージキャラクター「さーくちゃん」

基本理念・基本目標

I 基本理念

人と人がつながり 支え合う地域づくり

佐久市社会福祉協議会は、「人と人がつながり 支え合う地域づくり」を基本理念とし、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを推進することを使命としています。

この使命を達成するため、社会福祉関係団体、NPO法人などと連携して、国や自治体の福祉制度では補いきれない地域の課題解決に取り組み、その連絡調整役を担っていきます。

II 基本目標

3つの基本目標を掲げ、幅広い事業を行っていきます。

○共に支え合う人づくり

地域住民同士の自主的・主体的な支え合いの意識を啓発し、市民の連帯意識を高め、積極的に地域活動に関ることができるよう、人材の育成と地域活動を支える組織の育成や活性化を図ります。

○安心して暮らせる地域づくり

安心して子どもを生み育てられる仕組みづくりや、地域住民がお互いに支え合う地域コミュニティの形成を目指します。さらに、すべての市民が安心して暮らせる地域を築くための自主防災活動や、犯罪から地域を守る自主防犯活動を中心とした助け合い活動の充実を図ります。

○生涯にわたる心とからだの健康づくり

市民すべてが、健康で生きがいを持って暮らしていくために、いつでも、どこでも学習できる環境の整備を進めます。また、優れた知識・技術や知恵を持つ元気な高齢者が、地域活動に参加しやすい仕組みづくりを進めます。

事業方針・重点目標

法人運営（総務課）

1 法人経営の強化

（1）収支を意識した計画的経営

収支バランスを意識し、その中から課題を見出し、その要因がどこにあるのかをしっかりと把握します。介護保険サービス・障害福祉サービスの採算性に加え、地域福祉事業についても採算性を意識した経営に努めます。

また、既存の制度や考え方にとらわれず、社協内の事業の相乗効果を考え、住民に求められるような事業展開ができるよう事業実施計画や改善計画を作成します。

○社協会費の推移

	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度見込	H31 年度目標
金額	22,621,042 円	22,379,710 円	22,122,638 円	21,700,000 円
件数	22,825 件	22,791 件	22,662 件	21,700 件

- ・社協会費は、貴重な自主財源ではありますが、年々減少傾向となっています。ご協力いただいた会費がどのように使われているかを説明するとともに、会費を財源とした事業を行う時も積極的にアピールすることで、市民の皆様様の理解を得て会費納入に繋がるように努めます。

○共同募金の推移

	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度見込	H31 年度目標
目標額	16,000,000 円	16,401,000 円	16,205,000 円	16,205,000 円
募金額	16,388,764 円	16,289,827 円	15,785,143 円	16,205,000 円
配分額	10,664,679 円	10,596,764 円	10,388,827 円	9,880,143 円
件数	23,560 件	23,225 件	22,965 件	23,200 件

- ・共同募金の配分金は、様々な地域福祉事業を行うための貴重な財源となりますが、年々減少傾向となっています。配分金を有効に活用できる事業展開に取り組むことで、共同募金のPRに繋がるように努めます。



(2) 補助事業・受託事業の連携強化

市・県社協・広域連合などと事務を含めた連絡調整を行い、連携を強化しながら、補助事業や受託事業（指定管理を含む）を実施します。

○人件費補助金の推移

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
要求額	102,740,724円	99,566,122円	103,071,823円	100,948,857円
補助額	61,600,000円	59,700,000円	61,800,000円	60,500,000円

○平成31年度は下記の施設が指定管理期間の最終年度となることから、継続是非の検討を行います。

- ・佐久市前山デイサービスセンター
- ・佐久市あいとぴあ臼田デイサービスセンター
- ・佐久市浅科デイサービスセンター
- ・佐久市臼田総合福祉センターあいとぴあ臼田
- ・佐久市浅科生きがい活動支援センター
- ・佐久市望月老人福祉センター

2 職員研修・労働条件の見直し

(1) 職員研修

年5回を目安に社協内での職員研修を計画します。

職員が講師となり自らの職場についての研修を行い連携の強化を図るとともに、外部からの講師を招き専門的な研修なども行います。

事務事業改革検討プロジェクトチームも引き続き行い、将来の社協に向けて課題を洗い出し解決策を探ります。



職員研修会

(2) 職場環境の改善

各事業、職責に必要な研修が計画的に受講できるように、研修計画を作成します。処遇改善加算のさらなる取得に向けて、職場環境の改善を、職員一丸となって取り組みます。

(3) 働き方改革への対応

労働時間の客観的な把握・年次有給休暇の付与義務・不合理な待遇差の解消などへ対応するため、新たに社会保険労務士への業務委託を取り入れ当会の現状に即した対応ができるようにします。

また、リース期間が満了となる給与システムについても上記の対応がとれるシステムであるか検討を進め導入していきます。

地域福祉の推進（福祉課）

1 基本目標の達成に向けた取り組み

（1）共に支え合う人づくり

- 地域のニーズに沿った講座、学習会、研修会などを開催し、福祉意識の高揚を図っていきます。
- 福祉学習への関心を高め、体験学習などの支援を行います。

（2）安心して暮らせる地域づくり

- 就労形態の変化や核家族化の進行など、子育て環境を取り巻く変化に応じた子育て支援を推進し、安心して子育てできる地域づくりや障がいのある方や高齢者が安心して生活できるよう、住み慣れた場所で暮らしていける地域づくりを目指していきます。

（3）生涯にわたる心とからだの健康づくり

- 人とふれあい、生きがいを持つことが大切であることから、地域活動へ参加できる仕組みづくりや地域における交流の場となる「ふれあいいきいきサロン事業」を推進します。

2 重点的に取り組む事業

（1）社会福祉普及校指定事業

児童・生徒が福祉体験をとおりして社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中に思いやりの心を育む活動を行なう小・中・高校、大学等を社会福祉普及校として指定します。

また、2020 パラリンピックに向けて障がい者スポーツにも関心を持っていただけるよう情報提供をします。

（2）ファミリーサポート事業「ほっと・ホット」

育児や介護で手助けが必要な家庭に対し、支援会員が有償で支援を行います。

講座を受講し、社協へ活動登録を行っていただく支援会員を確保し、事業の推進を図ります。



支援会員研修会

(3) さく成年後見支援センター事業

認知症・知的障がい・精神障がいなどによって、判断能力が不十分な方を対象に、成年後見制度についての相談や手続きの支援、研修会・出前講座・法人後見の受任などを行います。また、福祉サービス利用援助事業との連携を図ることにより、地域で安心して暮らせるように切れ目のない支援体制を構築します。

成年後見制度研修会



(福祉関係職員向け)



(一般向け)

(4) 結婚相談事業の充実

月2回程度開催。休日と、隔月で平日の夜間に相談日を設け、少子化対策に取り組めます。婚活イベントも会場と内容の充実を図り、出逢いの場を提供していきます。

(5) ふれあいいいききサロン事業(サロン世話人交流会事業)

地区の集会施設等を利用して、高齢者等の閉じこもりや認知症予防を目的に、区単位でのサロン(お茶飲み会)を、関係機関とも連携し、市内全地区での開催を目指します。また、サロンの開催役員等(世話人)の交流や情報交換のための世話人交流会を開催し、自主的な運営ができるよう支援します。

サロン世話人交流会



サロンで楽しめる体操



情報交換

介護保険・障害福祉サービス（介護サービス課）

1 介護保険事業

- （１）同一地域内に介護保険事業所が多いことから、提供サービスを検討し利用者の確保を図ります。
- （２）職員不足と職員の高齢化によるリスク管理対策を行います。
- （３）利用施設が老朽化しているため、指定管理者である市と相談し利用者に影響が出ないように連携を図ります。

・介護保険事業所の状況（上段：延利用者数 下段：報酬額）

	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度見込	H31 年度目標
ケアプランセンター	2,019 人	1,898 人	1,993 人	1,920 人
	29,640,630 円	28,064,860 円	28,082,330 円	27,981,000 円
前山デイサービスセンター	5,001 人	4,212 人	3,929 人	2,750 人
	47,678,020 円	43,440,924 円	38,444,963 円	29,132,000 円
あいとぴあ白田 デイサービスセンター	9,356 人	9,810 人	9,668 人	9,180 人
	82,632,714 円	82,335,960 円	84,391,052 円	81,141,000 円
浅科デイサービスセンター	5,440 人	5,927 人	4,557 人	4,550 人
	45,490,350 円	48,120,818 円	38,438,200 円	38,435,000 円
ヘルパーステーションさく	927 人	768 人	471 人	400 人
	37,220,494 円	29,134,308 円	16,496,000 円	13,751,000 円

2 障害福祉サービス

- （１）経営面では厳しい状況の特定相談支援事業所ですが、全ての障がい者が福祉サービスを利用するために不可欠な事業のため、事業継続するため創意工夫に努めます。
- （２）利用者の就労意欲が高まるよう、施設外就労先との連携を図ります。
- （３）利用者ができる作業開拓に努めます。

・障害支援事業所の状況（上段：延利用者数 下段：報酬額）

	H28 年度実績	H29 年度実績	H30 年度見込	H31 年度目標
特定相談支援事業所	334 人	388 人	393 人	350 人
	4,767,310 円	5,470,560 円	5,302,000 円	5,186,000 円
白田共同作業センター	4,444 人	5,103 人	5,408 人	5,150 人
	34,221,103 円	39,437,960 円	42,203,600 円	36,750,000 円
浅科ふれあいホーム	4,681 人	5,355 人	4,816 人	4,650 人
	40,242,476 円	42,906,271 円	38,425,000 円	40,730,000 円
ヘルパーステーションさく	341 人	286 人	202 人	170 人
	8,926,658 円	7,757,688 円	4,966,000 円	4,228,000 円

事業計画（詳細）

法人運営拠点区分（法人運営サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
1	法人運営 〔総務課〕	<p>○法人の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画・改善計画の作成 将来の組織のあり方を見据えて、引き続き事業計画を作成する中で生じた問題点を共有化し、改善計画の作成を目指すことで、今後の社協の事業展開について検討していく。 ・運営会議の開催 毎月1回、会長、事務局長、各課長、各係長（支所長）、各事業所の管理者が出席し、法人運営や事業運営改善等について協議をする。 ・事務事業改革検討プロジェクトチームの開催 最前線の現場で活動する正規職員から推薦されたメンバーで、日々感じる問題点等の情報の共有化を図り改善につながる活動ができるように議論し、運営会議に提案するなど連携をとりながら、活動を行う。 <p>○経理・財務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善 経常収支については収入の7割を占める介護保険報酬の推移を注視し、支出をコントロールすることで、赤字幅が減るよう財務管理を行う。 ・基金の管理と運用 経常的外の収支については、基金・積立金の性質と事業計画との調整を図りながら、有効的な運用ができるように管理をする。 また、基金と積立金の運用についても元本保証を前提としながら、利息収入等が増加できるような運用を図る。 <p>○労務人事管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革を見据えた、労務体制の構築 残業時間の規制・有給付与義務・不合理な待遇差の解消など働き方改革への対策を考え実行できるよう、社会保険労務士と業務委託するなどし対応できるよう努める。 また、給与システムの5年間のリース期間が満了となるため、働き方改革にも対応したシステムの導入を検討する。 ・上位の処遇改善加算の取得ができるよう、規程等の整備を行うと同時に職場環境要件をクリアできるように、現場職員との連携を図りながら改善に取り組む。 <p>○災害ボランティアセンターの運営体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた平時の取組について考えることで、地域や関係機関との連携強化を図り、災害ボランティアセンターの運営が円滑にできるように、社協の体制づくりに取り組む。
	予算額	70,504千円
2	高齢者緊急時連絡票作成と配布 〔総務課〕	○市内の一人暮らし高齢者を対象に、緊急時に関係者及び関係機関へ早期に連絡するための連絡票を配布し、冷蔵庫の扉表面の見やすい位置にマグネットで貼り付ける。新規希望者を対象に配布予定。
	予算額	50千円

法人運営拠点区分（法人運営サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
3	部会委員会 〔総務課〕	<p>○改正社会福祉法に沿った理事会・評議員会の運営 任期満了による理事の改選に向け必要な準備を進め、円滑な手続きができるよう努める。</p> <p>○連携の強化 理事会・評議員会開催時に、事業の開催状況等の資料を配布し、日頃の活動を報告することで連携を強化し、円滑な運営ができるよう努める。</p>
	予算額	1,258千円
4	会費活動 〔総務課〕	<p>○社協会費の納入依頼 ・6月～7月にかけて区長・赤十字奉仕団等へ協力を依頼し、各世帯への訪問により会費の納入をお願いする。</p> <p>・資金使途等を明確化し情報提供を進めるとともに、社協会費を財源とする事業開催時にピーアールを強化することで協力者の増加を図る。</p> <p>○募集活動に対する活動費支払い 社協会費募集と日赤社費募集の活動実績に応じて活動費を支払う。</p>
	予算額	1,738千円

地域福祉拠点区分（福祉課運営サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
5	福祉課運営 〔福祉課〕	<p>○地域福祉の推進は多くの事業が兼務で行われているため、本所地域福祉係、臼田支所、浅科支所、望月支所の人件費を拠点単位での一括計上とし、包括的にとらえることとする。 また、県社協・佐久市が行う生活困窮者自立支援事業に職員が出向することで地域福祉事業との連携を強化していく。</p>
	予算額	75,998千円

地域福祉拠点区分（共同募金事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
6	敬老訪問 〔福祉課〕	<p>○100歳到達者並びに男女最高齢者で、敬老訪問を希望する方に対して、市長・社協会長・老人クラブ連合会会長が、市と合同で敬老訪問を実施する。また、米寿者に対しては、担当の民生児童委員と同行訪問し祝品と祝状を贈呈する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米寿予定者 734名 ・100歳到達予定者 83名（男女最高齢各1名含）
	予算額	2,143千円
7	敬老会助成 〔総務課〕	<p>○各地区で開催している敬老会に助成し、地域活動を支える組織の活性化を図る。一人当たり600円（社協300円＋市300円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度予定対象者（市内70歳以上） 24,544人 ・平成30年度当初対象者 24,111人 申請者 21,075人 ・平成29年度当初対象者 23,262人 申請者 20,511人 ・平成28年度当初対象者 22,617人 申請者 20,011人
	予算額	14,788千円
8	福祉体験教室 〔福祉課〕	<p>○小・中・高校生等を対象に、授業や参観日等で、手話講座や車いす体験などを行う福祉体験を実施し、福祉に対する理解を深め、思いやりの心を育む福祉学習の支援を行う。</p> <p>○社会福祉普及校助成金申請をしていただき、充実した福祉体験ができるよう学校からの相談に応じ、学校と社協が「福祉プログラム」の作成等を行う。また、社協が、講師の紹介調整も行う。</p> <p>○H29.30年度に製作したDVDの活用を勧める。（車いす・視覚・聴覚編）</p>
	予算額	164千円
9	社会福祉普及校 指定事業 〔福祉課〕	<p>○社会福祉の理解と関心を高め、日常生活の中で思いやりの心を育む活動を行なっている小学校・中学校・高等学校・専門学校・大学等希望する学校に助成を行う。（1校当たり30,000円）</p>
	予算額	832千円
10	社会福祉大会 〔総務課〕	<p>○地域福祉功労者を表彰するとともに、実践発表、記念講演を通して地域福祉に対する意識の向上を図る。</p> <p>○佐久市社会福祉大会の開催（市と共催で年1回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 2019年10月23日（水） ・場所 佐久平交流センター ・内容 式典・表彰、実践発表、講演、大会アピール採択 <p>○長野県社会福祉大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 2019年9月20日（金） ・場所 駒ヶ根市文化会館（駒ヶ根総合文化センター） ・内容 式典・表彰、住民支え合い活動実践報告、講演大会アピール採択
	予算額	434千円

地域福祉拠点区分（共同募金事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
11	啓発宣伝 〔総務課〕	<p>○社協についての情報発信 社会福祉法に基づく情報公開や社協の事業等についてホームページをはじめとし、ツイッターやフェイスブックなどのSNSも積極的に活用し、社協について多くの方に理解してもらうように取り組む。</p> <p>○社協報広報「ぴーぷる」の発行 広報紙「ぴーぷる」を隔月(奇数月)発行する中で、社協事業を中心にPRし興味を持ってもらい、社協を身近に感じてもらうようにする。(1回 35,300部 年6回発行予定)</p> <p>○社協パンフレットの更新 隔年にて作成している社協パンフレットを更新。 2,000部発行予定</p>
	予算額	2,219千円
12	心配ごと相談事業 〔福祉課〕	<p>○市民が抱える諸問題や心配ごと等の相談を受ける。 相談の内容によっては、法律の専門家(弁護士・司法書士)につなぎ、初回(1時間以内)の相談料は社会福祉協議会が負担をする。</p> <p>○開設日：毎月第2火曜日。午後1時30分～4時。</p> <p>○開設場所：福祉総合センター、あいとびあ白田、浅科保健センター望月支所において順番に開催。</p>
	予算額	99千円
13	結婚相談事業 〔福祉課〕	<p>○毎月2回程度、相談員6名が交代で結婚相談事業を開催</p> <p>○開催場所：佐久市福祉総合センター</p> <p>○開催日：休日。ただし、隔月で平日の夜間に相談日を設ける。</p> <p>○相談時間：休日及び平日の相談は、午後1時30分から午後4時までの間。夜間の相談は、午後6時から午後8時30分までの間。 相談時間は1回30分程度。予約が必要。</p>
	婚活イベントの開催 〔福祉課〕	<p>○広く参加者を募集し、男女の出逢いの場(婚活イベント)を設定する。成婚につながるよう相談員も参加しサポートをおこなう。</p> <p>○主に社協結婚相談所の登録者を対象に、少人数による出逢いの場を提供する。(イベント開催時参加者負担金あり)</p>
予算額	1,231千円	
14	共同募金助成事業 (福祉団体助成) 〔総務課〕	<p>○社会福祉活動の推進を目的とする福祉団体に対して、予算の範囲内で助成金を交付する。 (助成団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐久市民生児童委員協議会・佐久市赤十字奉仕団 ・佐久市老人クラブ連合会・佐久市戦没者遺族会・佐久市保護司会 ・佐久市身体障害者福祉協会・佐久市母子寡婦福祉会 ・佐久市手をつなぐ育成会・佐久市精神障がい者家族会 ・佐久市更生保護女性会・佐久聴覚障害者協会 ・佐久手話サークル・佐久市保育協会・佐久市保育園保護者会連合会 ・佐久市食生活改善推進協議会・佐久肢体不自由児(者)父母の会
	予算額	1,748千円

地域福祉拠点区分（共同募金事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
15	希望の旅 〔福祉課〕	<p>○在宅で介護保険サービスを利用せずに生活している、普段外出することの少ない障がいがある方、及びその家族を対象に社会交流の場を提供し、生きがいつくり等を高められるよう開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 2019年6月4日（火） ・目的地 長野県松本平広域公園（信州スカイパーク）ほか ・内容 信州花フェスタ2019
	予算額	304千円
16	誰もが 安心して暮らせる まちづくり事業 〔福祉課〕	<p>○市内の公共施設や商業施設等のバリアフリー情報を社協ホームページで提供する。</p> <p>○随時社協ホームページへの掲載依頼を受け付け、情報の更新を行う。</p>
	予算額	42千円
17	共同募金事業 への協力 〔総務課〕	<p>○佐久市共同募金委員会の事務局としての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会の開催 年3回 ・配分審査委員会の開催 年2回 <p>○共同募金の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定期間（10月～12月） ・実施予定方法 「戸別募金・法人募金・学校募金・街頭募金」 <p>○県共同募金会の配分事業窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域配分事業等の受付事務などを行う。

地域福祉拠点区分（地域福祉事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
18	ボランティア センター活動 〔福祉課〕	<p>○ボランティアセンターを本所及び支所に配置し、身近な場所でボランティア活動に関する相談や調整を行い、センター機能の充実を図る。</p> <p>○ボランティア養成講座や研修会等を開催し、ボランティア活動者の新規登録者促進、既存の活動者への支援を行う。</p>
	ボランティアの 育成 〔福祉課〕	○ボランティアの相談・斡旋・登録等を行うとともに、地域のニーズに沿った講座・学習会・研修会等を開催し、受講修了者には、ボランティア登録を促す。
	佐久ふれあい広場 の開催 〔福祉課〕	○障がいの有無、老若男女を問わず市民に「出会い・ふれあい・語り合い」の場を提供する。社協は事務局として、ボランティア団体や福祉施設等関係者が実行委員会を組織して運営を行う。
	予算額	2,924千円

地域福祉拠点区分（地域福祉事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
19	ファミリーサポート事業 〔福祉課〕	○地域で誰もが安心して、助けあいながら生活できる地域づくりを推進していくために、子育て・介護に手助けが必要な方と、手助けができる方がつながるよう、社協が活動の連絡調整を行う。 ○活動は1時間700円～800円の有償サービス。
	育児助っ人養成講座 〔福祉課〕	隔年での開催。平成31年度なし
	介護助っ人養成講座 〔福祉課〕	○ファミリーサポート事業がスムーズに運営できるよう、助っ人（支援会員）の養成と登録を行う。 ○講座の内容（予定） 高齢者に多い病気、高齢者の身体機能、実技体験等
	予算額	171千円
20	ふれあいいきいきサロン事業 〔福祉課〕	○高齢者等を対象に、地域での孤立化・閉じこもりを防ぎ、健康で生きがいを持って生活が送れるよう、地区の公会場等で開催。未実施地区の立ち上げについては、市、社協、地域包括支援センター、民生児童委員等と連携して開催する。 ○新規立ち上げを推進する他、サロンを運営するにあたり、調整が必要な地域には積極的に介入し、今後も継続して運営ができるよう支援する。
	ふれあいいきいきサロン世話人交流会 〔福祉課〕	○ふれあいいきいきサロンの世話人を対象に、様々なプログラムの紹介や世話人同士の交流・情報交換を行う。 ○交流会の開催 ・佐久市内全地域を対象に1回 ・各地区（佐久・臼田・浅科・望月）ごとに1回
	予算額	1,630千円
21	安心コール事業 〔福祉課〕	○70歳以上の一人暮らし高齢者に、ボランティアの方が電話による安否確認を行う。コールの頻度は、対象者の希望に合わせる。また、何か異常等があれば、社協をとおして関係機関につなぐ。
	予算額	266千円
22	お元気レター事業 〔福祉課〕	○ボランティアが描いた絵手紙を、70歳以上のひとり暮らし高齢者等に郵送し、安否確認を行う。郵便物等が溜まっていた時には、社協をとおして関係機関につなぐ。
	予算額	281千円
23	災害ボランティア講座 〔福祉課〕	○防災意識や心構えの習得により防災力を高めることを目的に開催。災害ボランティアセンター設置の際、ボランティアスタッフとして登録をしてもらえるよう講座受講者に呼びかける。 ○講座内容：講話、炊き出し体験、災害ボランティアセンター設置・運営、模擬体験（受講者並びに災害ボランティア登録者は、市総合防災訓練に災害ボランティアセンター設置スタッフとして参加）
	予算額	37千円
24	地区社協活動 〔福祉課〕	○市内7地区に地区社協を設置、それぞれの地域に応じた活動を、地区社協独自に開催する（先進地の視察研修や各種講習会、お楽しみ会等） ○7地区役員合同研修を開催し、地区社協活動について学習する。
	予算額	1,404千円

地域福祉拠点区分（地域福祉事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
25	認知症徘徊 SOS模擬訓練 〔福祉課〕	○認知症による徘徊行動に対し、地域で見守る体制づくりを進めるため、「認知症についての学習」「徘徊SOS模擬訓練」を実施し、徘徊者の早期発見、早期対応を地域住民・関係機関と連携して行う。 ○3地区実施予定
	予算額	24千円
26	地域福祉活動計画 策定評価事業 〔福祉課〕	○第三次地域福祉活動計画の評価を、市と連携して、評価部員に検証していただく。
	予算額	48千円
27	各区との連携 〔福祉課〕	○要援護者を日常的に支えられるように、区長会等を通じて各区長と連携を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指す。
28	P T A 連合会・保 育協会等との連携 〔福祉課〕	○両団体との連携強化を図り、保育協会には、育児助っ人養成講座の講師並びに実習指導等の協力をいただく。
29	地域包括支援セン ターとの連携 〔福祉課〕	○地域で生活する高齢者に関する情報の共有と、適切な対応に向けた連携体制の強化を図る。また、高齢者の権利擁護における窓口として、日常生活自立支援事業及び成年後見制度利用への連携と情報の共有を図る。
30	災害時住民支え合 いマップの作成 〔福祉課〕	○市福祉課と連携し推進を図り、支え合いマップ見直し時に立ち合い、市職員と一緒に地域に出向く。
31	民生児童委員協議 会活動との連携 〔福祉課〕	○「ふれあいいいききサロン」事業や、ひとり暮らし高齢者等の安否確認事業など、様々な地域福祉活動に関する情報交換や協働活動の連携を、引き続き図っていく。
32	日本赤十字社長野 県支部佐久市地区 〔福祉課〕	○日本赤十字社の使命「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。」を達成するために「7つの基本原則」に従い、赤十字運動を推進します。県支部の「災害からいのちを守る日本赤十字社」としてより質の高い災害救護の実現に向けた取り組みの継続と、グループ力・ネットワーク力、ボランティアの力を活用しながら赤十字事業「いのちを守る9つの事業」を展開する。
33	赤十字奉仕団との 連携 〔福祉課〕	○赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようと結成されたボランティアとして地域ごとに組織されている「地域赤十字奉仕団」が、会員増強に関する活動、災害救護活動、献血にかかわる活動、救急法講習会等をとおして、赤十字奉仕団活動を地域に浸透させ、有事の際にスムーズな活動ができることを目指し、地域の連携を強化する。
34	老人クラブ活動の 支援 〔福祉課〕	○高齢者が知識や経験を活かして、魅力ある活動や地域貢献活動ができるように支援する。仲間づくり、健康づくりのイベントを通して、会員の増加を図るよう連携する。
35	佐久市戦没者 遺族会事務 〔福祉課〕	○佐久市戦没者遺族会としての活動を、遺族会員並びに多くの市民へ周知していき、関係事業に対して参加者や協力依頼を募る。 ○遺族会員の高齢化に伴い、会を継続するための後継者となる青壮年部の育成及び組織化推進を図る。

地域福祉拠点区分（長野県社会福祉協議会受託事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
36	生活福祉資金貸付事業〔福祉課〕	<p>○高齢者世帯や障がい者世帯、低所得世帯に対し、自立した生活に資するための貸付を行う。また、生活困窮者で就労支援が必要な人に対し「まいさぼ佐久」と連携を図り、家計相談等の指導に当たる。</p> <p>○貸付資金の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金・総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 ・不動産担保型資金 <p>○滞納者には、長野県社会福祉協議会と連携し、定期的に訪問・償還指導を行う。</p>
	予算額	1,296千円
37	福祉サービス利用援助（日常生活自立支援事業）〔福祉課〕	<p>○判断能力が不十分な、高齢者や障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談や援助をし、その生活を支援する。本人のみでなく、家族を含め様々な問題を抱える方が増えており、成年後見支援センターや関係機関との連携がより重要となる。</p>
	予算額	2,000千円

地域福祉拠点区分（佐久市受託事業サービス区分）

	事業名	事業概要
38	福祉バス運行事業〔福祉課〕	<p>○交通手段の確保困難な、馬坂・広川原地区の高齢者等の移送手段を確保することを目的に、月1回、福祉バスを運行する。</p>
	予算額	150千円
39	ひとり暮らし高齢者等給食サービス〔福祉課〕	<p>○70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、手作り弁当の配食を通して、安否確認や健康状態の確認、孤立感の解消を図る。</p> <p>○地域の民生児童委員やボランティア、JA女性会等に協力いただき実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料 1食100円
	予算額	2,942千円
40	男性料理教室〔福祉課〕	<p>○60歳以上の男性を対象に、参加者の仲間づくりとひとり暮らしでも食生活に困らないよう、身近な食材を使って、気軽に調理ができるように、栄養士及びボランティアの協力により毎月1回開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所 白田支所、浅科支所 ・参加者負担金 一人年額4,800円（1回400円）
	予算額	482千円
41	家計改善支援事業〔福祉課〕	<p>○生活困窮者に対し、家計の状況を「見える化」し、利用者の家計管理の意欲を引き出す相談支援を行い、生活の早期再生を図る。</p> <p>○まいさぼ佐久と連携を図り、生活困窮からの脱出方法を探り、生活及び精神の安定が図れるように支援する。</p>
	予算額	1,190千円

地域福祉拠点区分（佐久広域連合受託事業サービス区分）

事業No.	事業名	事業概要
42	さく成年後見支援センター運営事業〔福祉課〕	<p>○平成28年度から事業受託。成年後見制度とは認知症・知的障がい・精神障がい等によって、判断能力が不十分な方を対象に家庭裁判所で選任された成年後見人等が財産と生活を守り支援する。</p> <p>○センターでは佐久圏域住民からの相談及び利用支援、市町村・福祉関係者等からの二次相談、普及・啓発のための研修会の開催、第三者後見人候補者の情報提供、経済的理由等で後見人候補者が得られない方の法人後見の受任を行い権利擁護の促進を図る。</p>
	予算額	11,165千円



介護保険・障がい支援拠点区分（介護サービス課運営サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
43	介護サービス課 運営 〔介護サービス課〕	○介護保険事業所・障害福祉サービス事業所の事業について、包括的にまとめ、円滑な業務が行えるよう努める。関係機関への申請手続きや、保険請求等の事務を行う。 ○職員がより質の高いサービスを提供するため、各種研修会等を開催する。
	予算額	11,617千円
介護保険・障がい支援拠点区分（居宅介護支援事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
44	ケアプラン センター佐久 〔介護サービス課〕	○要介護者に対し、介護保険サービスや地域の社会資源等を適切に利用できるように、要介護者等の依頼を受けて介護サービス計画の作成等を行う。 ○介護保険制度改正に伴い、医療との連携の強化や質の高い公正中立なケアマネジメントを継続して行っていく。
	予算額	27,631千円
介護保険・障がい支援拠点区分（老人居宅介護事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
45	社協ヘルパー ステーションさく 〔介護サービス課〕	○要介護者等に対し、入浴・排泄・食事の介護、その他生活全般にわたる介護を、ケアプラン及び訪問介護計画に沿って行う。 ○在宅での介護や生活を支える上で、様々なケースに対応できるよう、職員のスキルアップを図り、適切な援助・介護相談等を行う。
	予算額	26,319千円
介護保険・障がい支援拠点区分（老人デイサービス事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
46	佐久市前山デイ サービスセンター 〔介護サービス課〕 【指定管理】	○予防相当の利用者を含め、要介護1～5までの利用者を受け入れ、送迎・健康状態の管理・入浴・生活リハビリ・レク活動・食事の提供を行う。 ○2020年3月31日で指定管理期間満了となる。 ○閉所に向け、利用者の移行がスムーズに行えるよう、利用者・家族・ケアマネージャー等各関係機関と相談しながら行っていく。 【定員】 一般型 20人 認知型 10人
	予算額	44,543千円
47	佐久市あいとびあ 白田デイサービス センター 〔介護サービス課〕 【指定管理】	○認知症通所事業や機能訓練等に力を入れ、中重度要介護者の利用施設として、地域のために事業継続を行う。 ○地域の看護学生や中学生等の福祉体験の実習場所としても受け入れていく。 ○2020年3月31日をもって指定管理期間が満了となるが、2020年4月以降も事業継続を希望する。 【短期入所事業：佐久市受託事業】 介護者の出産・疾病・冠婚葬祭等により、一時的に介護困難となった際に、短期間入所を受け入れ、介護者及び被介護者の福祉向上を図る。 【定員】 一般型 30人 認知型 10人
	予算額	97,927千円
48	佐久市浅科デイ サービスセンター 〔介護サービス課〕 【指定管理】	○高齢者の要介護状態の軽減、もしくは機能低下の予防に資するように、必要な日常生活上の介助及び機能訓練を行い、利用者の社会的孤立感の解消、心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図る。 ○2020年3月31日をもって指定管理期間が満了となるが、2020年4月以降も事業継続を希望する。また、入浴用アーム型リフトバスの年式が古く部品もなく老朽化が進んでおり、いつ使用出来なくなるか不安がある為、今後市と協議していく必要がある。 【定員】 一般型 25人
	予算額	48,980千円

介護保険・障がい支援拠点区分（特定相談支援事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
49	特定相談支援事業所 〔介護サービス課〕	<p>○障がい者が自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、生活相談支援計画の作成、関係機関との連絡調整を行う。</p> <p>○対応困難ケースの増加に伴い、幅広いマネジメントや高い専門性が求められているため、相談支援員の資質向上を図り利用者に寄り添う事業を行う。</p> <p>○全ての障害福祉サービスを利用するために不可欠な事業で、費用対効果は高い。経費削減に心がけ、事業を継続する。</p>
	予算額	10,752千円
介護保険・障がい支援拠点区分（障害福祉サービス事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
50	社協ヘルパーステーションさく 〔介護サービス課〕	<p>○障害者総合支援法に基づき、障がい者へ、居宅において入浴・食事・移動等の支援のために介護員を派遣し、日常生活を営むのに必要な支援サービスを、利用計画及び居宅介護計画等に基づいて行う。</p> <p>○専門的な知識が必要であるため、研修等で職員教育の充実を図り、利用者に適切な支援・相談・助言を行う。</p>
	予算額	4,600千円
介護保険・障がい支援拠点区分（障害福祉サービス事業就労継続支援B型サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
51	臼田共同作業センター 〔介護サービス課〕 【指定管理】	<p>○障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動・その他の活動機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練その他の支援を適正かつ効果的におこなう。</p> <p>○作業環境の整備、施設外就労の充実、職員のスキルアップにより、利用者の作業意欲を高め、工賃アップと企業等への就労支援を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所予定日：253日 ・延べ通所見込利用者：5,150人 ・1日平均通所見込利用者：20人 ・工賃収入：5,100千円 ・一人当たり平均工賃：14千円(月)
	予算額	37,426千円
52	浅科ふれあいホーム 〔介護サービス課〕 【指定管理】	<p>○障がい者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、通所により生産活動・その他の活動機会の提供を通して、知識及び能力向上のために必要な訓練及びその他効果的支援。施設外就労の利用移行者を増やし、一般就労へ繋げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所予定日：253日 ・延べ通所見込利用者：4,650人 ・1日平均通所見込利用者：19人 ・工賃収入：5,642千円 ・一人当たり平均工賃：20千円(月)
	予算額	44,110千円

施設管理・運営拠点区分（施設管理運営事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
53	佐久市老人福祉センター 〔福祉課〕	○老人福祉法20条の7に基づく施設運営（自己所有） ・高齢者の憩いの場所や各地区いきいきサロンの開催場所の提供 ・老人クラブ活動のための施設供与と育成 ・レクリエーション活動の増進と各種講座の開設 ・入浴施設の提供 ○年間見込利用者数 約17,000人 ○年間見込風呂利用者数 約9,500人
	予算額	14,900千円
54	佐久市臼田老人福祉センター 〔福祉課〕	老人福祉法20条の7に基づく施設運営（自己所有） ・高齢者の憩いの場の提供 ・高齢者の趣味の会の育成 ○年間見込利用者数 約400人（一般貸館利用者のみ）
	予算額	4,500千円
55	佐久市福祉総合センター 〔福祉課〕	○福祉団体並びにボランティアグループに会議室等を無料で開放し、活動の活性化とボランティアの育成を図る。 ○社協所有の施設を拠点として利用していただくことで、子育てグループ間の情報交換、協働活動を図り、新たな活動の展開を促す。 ○年間見込利用者数 約7,000人
	予算額	4,300千円
施設管理・運営拠点区分（指定管理事業サービス区分）		
事業No.	事業名	事業概要
56	佐久市臼田総合福祉センター あいとぴあ臼田 〔福祉課〕 【指定管理】	指定管理（佐久市） 期間 平成27年4月～2020年3月 ・基本協定に基づく施設の管理 ・地域における総合福祉及びふれあいの拠点として、市民の福祉と意識の高揚を図ることを目的に管理運営を行う。 ○年間見込貸館利用者数 約66,500人 ○年間見込風呂利用者数 約10,700人
	予算額	35,100千円
57	浅科保健センター 〔福祉課〕 【指定管理】	指定管理（佐久市） 期間 平成30年4月～2023年3月 ・基本協定に基づく施設の管理 ・市民の健康の保持及び保険衛生の向上に資するための総合的な保健サービスの拠点として管理運営を行う。 ○年間見込利用者数 約9,000人
	予算額	4,400千円
58	佐久市浅科生きがい活動支援センター 〔福祉課〕 【指定管理】	指定管理（佐久市） 期間 平成27年4月～平成2020年3月 ・基本協定に基づく施設の管理 ・高齢者の生きがい対策及び介護予防を図ることを目的に管理運営を行う。 ○年間見込利用者数 約2,400人
	予算額	3,600千円
59	佐久市望月老人福祉センター 〔福祉課〕 【指定管理】	指定管理（佐久市） 期間 平成27年4月～平成2020年3月 ・基本協定に基づく施設の管理 ・高齢者の健康増進、憩いの場所や各地区いきいきサロンの開催場所の提供 ・レクリエーション活動の増進 ○年間見込利用者数 約7,500人 ○年間見込風呂利用者数 約5,900人
	予算額	13,650千円